

愛媛県自転車新文化推進計画の概要

第6次
長期計画
第3期A P
2019
～
2022

『自転車新文化の拡大・深化』

愛媛県自転車新文化推進計画 【計画期間：2019～2022年度の4か年】

目指すべき姿

- ★「サイクリストの聖地」瀬戸内しまなみ海道を誰もが訪れたい地域へ
- ★「サイクリングパラダイス」愛媛県を年齢や性別、体力・障がいの有無等に関わりなく、自転車を楽しむことができる地域へ
- ★「サイクリングアイランド」四国を世界中からサイクリストを受け入れられる地域へ

主な課題

- 年齢・性別等に関わりなく主体的に自転車を活用できる環境づくり
- 地域資源と組み合わせたサイクルツーリズムの推進と近隣県との広域連携
- 自転車はもとより、歩行者にもやさしい自転車通行空間の整備
- 交通ルール遵守の徹底、マナー向上、「シェア・ザ・ロード」の精神の浸透
- 自転車競技の参画人口の拡大や環境の充実、競技スポーツの振興

目標 1

県民みんなが
つくり・育てる
サイクリング
パラダイス

- ①自転車利用の普及・拡大
- ②愛媛マルゴト自転車道の推進
- ③E-BIKEえひめの推進
- ④タンDEM自転車等の普及

目標 2

交流人口の
拡大による
地域活性化

- ①ブランド力の向上と魅力発信
- ②受入環境・おもてなし態勢の整備
- ③公共交通機関と連携した二次交通等の充実
- ④おもてなし人材の育成
- ⑤サイクリングアイランド四国等広域連携の推進

目標 3

歩行者・
自転車に
やさしい
まちづくり

- ①自転車を活かした都市環境の形成
- ②自転車通行空間の計画的な整備

目標 4

シェア・ザ・ロード
の精神に基づく
自転車の安全
利用

- ①自転車安全利用の普及・啓発
- ②ドライバー等への普及・啓発
- ③自転車安全利用に係る指導者の育成
- ④ライフステージに応じた自転車安全教育の充実

目標 5

サイクル
スポーツ
の振興

- ①参画人口の拡大及び選手・指導者の育成による競技力向上
- ②全国規模の各種大会等誘致

アクションプログラム

(2022年度までに講じる具体的な措置を整理)

サイクリング・モデルルートを設定

(先進的なサイクリング環境の整備を目指すサイクリングルート)

瀬戸内しまなみ海道をはじめとする愛媛マルゴト自転車道28コース・四国一周1,000kmルート

目標1	県民みんなが作り・育てるサイクリングパラダイス
	施策(1)自転車利用の普及・拡大 <ul style="list-style-type: none"> ①愛媛サイクリングの日の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・県内全域での、自転車関連イベントの一斉開催 ・「愛媛サイクリングの日(11月の第2日曜日)」の認知度向上 ②裾野の拡大に向けた活動 <ul style="list-style-type: none"> ・親子を対象とした自転車教室の開催 ○ 高校生を対象としたサイクリング体験会や安全利用講習会等の開催 ・女性層に向けたサイクリングユニットによる情報発信やイベント開催 ・高齢者を対象としたサイクリング体験会開催や活動支援等 ③通勤・通学への自転車利用の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・CO2削減や渋滞緩和を目指したエコ通勤の普及 ・「えひめツーキニスト応援隊」の加入促進及び自転車ツーキニスト推進事業所の拡大 ・自転車通勤を推進する事業者等への駐輪場等の設置に対する支援 ④自転車を活用した健康づくり等に関する広報啓発の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリング等運動の意義と重要性の広報啓発 ⑤自転車専用コース等施設の整備促進 <ul style="list-style-type: none"> ・オフロード自転車コースなどの自転車専用施設の設置・拡充
	施策(2)愛媛マルゴト自転車道の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ ①愛媛マルゴト自転車道の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・先進的なサイクリング環境の整備を目指すモデルルートとして位置づけ ・利用者の声を踏まえたコース整備や新たなコースの追加・変更の検討 ・関係自治体等が連携した重点戦略エリア(モデルエリア)の設定によるサイクリング環境の充実 ・初めて走るサイクリストにもわかりやすいサイクリングコースマップの作成
	○ 施策(3)E-BIKEえひめの推進(電動アシスト付自転車の普及及び安全利用の啓発) <ul style="list-style-type: none"> ①電動アシスト付自転車の普及・拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・電動アシスト付自転車の普及拡大に向けた官民一体の検討会議の設置 ・充電スポット等の充実など利用環境の整備 ・体力に不安を持つ女性やシニア層等への裾野拡大 ・サイクリングイベント等へのE-BIKEカテゴリーの設置 ・都市の交通利便性と魅力向上に向けたレンタサイクル・シェアサイクルの普及推進 ・E-BIKEを活用した新しいツーリズムの提案、安全利用の普及啓発
	施策(4)タンDEM自転車等の普及 <ul style="list-style-type: none"> ①障がい・体力の有無にかかわらず楽しめる自転車の楽しみの普及・拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・タンDEM自転車普及に向けた講習会や体験イベント等の開催
目標2	交流人口の拡大による地域活性化
	施策(1)ブランド力の向上と魅力発信 <ul style="list-style-type: none"> ①しまなみ海道の更なる魅力構築 <ul style="list-style-type: none"> ・しまなみ海道本線を活用した国際サイクリング大会の継続実施 ・路肩の拡幅等、自転車走行環境の整備 ・しまなみ海道自転車道の通行料無料化に向けた取組み ・宿泊施設や休憩施設等のおもてなし態勢拡充に向けた企業等との連携 ○ ②先進的なサイクリング環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・先進的なサイクリング環境の整備を目指すモデルルートとして位置づけ(再掲) ○ ナショナルサイクルルートの指定を視野に入れた取組み実施 ○ ②プロモーション活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルマーケティングの手法を活用した効果的なブランディングやプロモーション活動 ・四国4県や近隣県への情報発信及び関西圏首都圏での誘客活動の実施 ・アクティビティを組み合わせたモデルツアー等の造成及び情報発信 ③国際交流や外客誘致の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングコースマップ、情報発信のためのホームページ等の多言語化 ・モデルツアーの実施による情報発信やツアー造成に対する支援策の実施等 ・外国へのサイクリングプロモーション隊の派遣や外国人サイクリストとの交流実施 ・ファンライドイベントを開催する団体や関係者による国際会議の開催 ④魅力あるサイクリング大会の開催支援 <ul style="list-style-type: none"> ・石鎚山ヒルクライム等、県外参加者が見込めるサイクリング大会の開催支援
	施策(2)受入環境・おもてなし態勢の整備 <ul style="list-style-type: none"> ①サイクルオアシス等の設置による受入環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・サイクルオアシスの利便性の向上など受入環境の拡充 ・サイクリング中のトラブルに対応するサイクルレスキューの拡充

<p>目標2</p>	<p>交流人口の拡大による地域活性化(続き)</p> <p>施策(2) 受入環境・おもてなし態勢の整備(続き)</p> <p>②道の駅等のサイクリング拠点化 ・道の駅等において、サイクリスト向けのサービスや情報を提供する態勢整備の検討</p> <p>③レンタサイクル・シェアサイクルの普及 ○ 県内レンタサイクル情報の集約と情報発信 ○ 市町域を超えたレンタサイクルの広域化の検討 ○ 都市部や町並み観光などに取り組む市町でのシェアサイクル及びレンタサイクルの普及促進</p> <p>④手荷物配送サービスの拡充 ○ 出発地から目的地の宿泊施設等への手荷物配送サービスの拡充検討</p> <p>⑤自転車道のICT化の促進 ・利便性向上に向けたサイクルオアシス等へのえひめFreeWi-Fiのアクセスポイント設置促進</p> <p>⑥外国人サイクリスト向けの受入体制の充実 ・外国人サイクリスト向けの宿泊施設の整備や各種案内の多言語化 ・愛媛マルゴト自転車道サービスサイト及び同アプリ等の多言語化</p> <p>施策(3) 公共交通機関と連携した二次交通等の充実</p> <p>①二次交通の充実 ・サイクルトレインの拡充に向けた事業者との協議・検討 ・サイクルバス・タクシーの拡大等に向けた事業者との協議・検討</p> <p>②交通事業者との連携 ○ 交通事業者等と連携した自転車輸送における利便性の向上に向けた検討 ○ 四国や瀬戸内圏の拠点となるような旅行商品等の開発に向けた検討</p> <p>施策(4) おもてなし人材の育成</p> <p>①サイクリングガイドの養成・活用 ○ サイクリング中の安全空間の確保やトラブル対応ができるサイクリングガイドの養成 ○ ガイドツアーの造成など、サイクリングガイドの活用施策の推進 ○ セルフガイドツアーの導入促進</p> <p>施策(5) サイクリングアイランド四国の実現をはじめとする広域連携の推進</p> <p>①四国4県の連携強化 ○ 四国一周サイクリングの認知度向上や誘客促進に向けたプロモーション活動の実施 ○ 四国一周路面案内ピクトの整備など道路環境の整備 ○ 手荷物配送サービスや宿泊施設・休憩施設等におけるサイクリストへのおもてなし態勢の充実 ○ E-BIKEを活用するなど裾野拡大のための四国一周サイクリングツアーの造成(再掲) ○ ナショナルサイクルルート指定を視野に入れた取組み実施及び各県地域ルートとの連携調整 ○ 4県が連携したイベントや広域サイクリング大会の開催 ○ 4県が連携した自転車の安全利用に関する意識啓発</p> <p>②広域連携の推進 ・しまなみ海道を核とした、愛媛・広島・島根・鳥取の4県にまたがるサイクリングルートの定着 ・愛媛西伊予及び大分中部地域を自転車等で繋ぐサイクリングコースの定着</p>
<p>目標3</p>	<p>歩行者・自転車にやさしいまちづくり</p> <p>施策(1) 自転車を活かした都市環境の形成</p> <p>①モビリティの再構築 ○ 公共交通機関と連動した効率的な交通ネットワーク環境構築に向けた検討 ○ 都市部や町並み観光などに取り組む市町でのシェアサイクル及びレンタサイクルの普及促進(再掲) ○ 駐輪場の整備など、自転車利用者が公共交通機関を利用しやすい環境整備 ○ 自動車の速度抑制や通過交通の進入抑制を図る「ゾーン30」等の導入促進</p> <p>②災害時の自転車活用の推進 ○ 県地域強靱化計画の見直しに合わせた、災害時の自転車活用に関する検討</p> <p>施策(2) 自転車通行空間の計画的な整備</p> <p>①自転車活用推進計画の策定支援 ○ 市町に対する周知及び実情に応じた自転車活用推進計画の策定支援</p> <p>②市町ネットワーク計画の整備推進 ○ 市町における自転車ネットワーク計画の策定促進及び自転車通行空間の整備促進</p> <p>③自転車通行空間の整備 ○ 安全性が高く、かつネットワークとして連続した自転車通行空間の整備推進 ○ 自転車が安全に通行できる独自の道路の構造の技術的基準に関する検討 ○ 現況道路幅員の再配分による路肩の拡幅、快適な自転車走行空間の創出 ○ 道路標識や道路標示、信号機等の適切な設置・運用による、全ての交通の安全・円滑化の推進 ○ 荷さばきルールの策定促進や路外駐車場の整備、停車帯設置における植樹帯の活用等検討 ○ 利用率と設置箇所付近における駐車需要とを照らし合わせ、パーキングチケットの撤去等検討 ○ 自転車専用通行帯の設置区間における、停車帯の設置又は駐停車禁止の規制の実施検討</p>

<p>目標3</p>	<p>歩行者・自転車にやさしいまちづくり(続き)</p> <p>施策(2) 自転車通行空間の計画的な整備(続き)</p> <p>④交通法令違反への指導取締りの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の発生状況等を踏まえた自転車利用者に対する指導啓発の重点実施 ・自転車利用者の無灯火、二人乗り等に対し指導や悪質・危険な違反に対する検挙措置の実施 ・一定の違反行為をした自転車運転者に対する自転車運転者講習の受講推進 ・地域交通安全活動推進委員、ボランティア、関係団体等と連携した、指導啓発活動の推進 ・悪質性・危険性・迷惑性の高い駐停車違反に重点を置いた指導取締りの実施 <p>⑤駐輪場設置の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路外駐輪場の設置推進及び路上における駐輪場設置促進の検討 <p>⑥無電柱化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町や電線管理者など関係機関と連携した、県版「無電柱化計画」の策定
<p>目標4</p>	<p>シェア・ザ・ロードの精神に基づく自転車の安全利用</p> <p>施策(1) 自転車安全利用の普及・啓発</p> <p>①自転車安全利用に向けた普及・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県自転車安全利用協議会での自転車安全利用に係る研究・協議 ・条例の周知徹底及び広報啓発、マナーアップに向けた活動 ・自転車通行空間の整備形態に応じた自転車の通行ルール等の周知 ・事故防止に向けた自転車の定期点検・整備実施の普及・啓発 ・自転車の事故情報等の収集等 <p>②児童・生徒の自転車マナー向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通ルール等の正しい理解に向けた交通安全教室の実施 ・自転車交通マナー向上実践指定校によるモデル事業の実施 <p>③通学路の安全点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町の交通安全プログラムに基づく、通学路の安全点検の実施と結果の周知 <p>④ヘルメットの着用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車用ヘルメットの被害軽減効果に関する広報啓発 ・自転車用ヘルメットの着用に積極的に取り組む事業所や団体等の拡充 ・県立・国立高等(専門)学校の自転車ヘルメット着用義務化の継続 <p>⑤自転車損害保険等の加入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関・団体、各損害保険会社等と連携した自転車損害保険等への加入促進 <p>施策(2) ドライバー等への普及・啓発</p> <p>①自転車利用者以外への普及・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「思いやり1.5m」運動の周知による「シェア・ザ・ロード」の精神の普及・啓発 <p>②教習所等での普及・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車教習所における自転車通行や自転車保護についての教育の実施 <p>施策(3) 自転車安全利用に係る指導者の育成</p> <p>①指導者への講習会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車安全利用に関わる指導者への安全教育、普及啓発活動の実施 <p>施策(4) ライフステージに応じた自転車安全教育の充実</p> <p>①児童・生徒への教育・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の発達段階に応じた自転車の交通安全教育の実践方法や事例等の周知 <p>②親子への普及・拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車の乗り方や楽しさ、交通ルールやマナー等を普及させる自転車教室の開催(再掲) <p>③高齢者への教育・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向けの「参加・体験・実践型」自転車交通安全教室の実施 <p>○ ④大学生や高齢者以外の成人に対する教育・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教育を受ける機会が少ない層を対象とした自転車交通安全教育等の実施
<p>目標5</p>	<p>サイクルスポーツの振興</p> <p>施策(1) 参画人口の拡大及び選手・指導者の育成による競技力向上</p> <p>①参画人口の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い世代が気軽に参加できる体験会等を開催し、サイクルスポーツに触れる機会を提供(再掲) ・学校や地域のスポーツ団体等と連携し、児童・生徒がスポーツに触れる機会を提供 ・運動部活動の充実に向けた、スポーツ人材バンクの充実や競技団体との連携 ・実業団やプロチームのレース開催に対する支援 ○ 高校生を対象としたサイクリング体験会等の実施(再掲) <p>②選手の育成・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車競技連盟主催のジュニア練習会への参加者の拡充 ・選手強化に向けた、強化事業に係る経費の補助や拠点校の指定等 <p>③指導者の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会や講習会の開催による、指導者の資質向上 <p>施策(2) 全国規模の各種大会等誘致</p> <p>①各種大会等の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピックの事前合宿等に興味を示す競技団体への働き掛け ・日本スポーツマスターズ2020に向けた競技内容の検討